

ほほえみ

H O H O E M I I N F O R M A T I O N



- ① ぎふSDGs推進シルバーパートナー登録証授与式
- ② 特別養護老人ホーム 「テクノロジーで支える、やさしさのある介護」
- ③ 施設のお便り・お知らせ
- ④ 令和8年度 各委員会目標
- ⑤ ほほえみ配食サービス
事業所一覧



 **社会福祉法人桜友会**

〒501-3932 岐阜県関市稲口845
TEL.0575-24-9570 FAX.0575-24-9571
E-mail:ouyou@hohoemi.or.jp

URL:<https://www.hohoemi.or.jp>

下のQRより
桜友会ホームページで
詳細がご覧いただけます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





ぎふSDGs推進シルバーパートナー登録

この度当法人は、「ぎふSDGs推進シルバーパートナー」として正式に登録され、令和7年12月15日(月)に開催された登録証授与式へ出席いたしました。式典では、県内でSDGsの達成に向けて取り組む多くの団体が集い、それぞれの実践や思いを共有する有意義な場となりました。

今回のシルバーパートナー登録は、これまでの取り組みが評価されたものであり、同時に今後の活動をさらに発展させる大きな励みとなりました。

今後も、地域の皆さまと力を合わせながら、持続可能で誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、より一層努力してまいります。

SDGs目標

重点目標Ⅰ

すべての人が健康で豊かに暮らせるように、それを支える福祉サービスを提供することは法人の第一の理念であり、目標です。必要とされるサービスを提供し、安心してこの地で暮らし続けること、持続可能なサービスの提供体制を整え、利用者も働く人もほほえみをもって生活することを目標とします。

重点目標Ⅱ

桜友会に関わる全ての方にほほえみを。働ける方に適正な仕事と適正な報酬を提供する。常に学ぶ環境、スキル向上を奨励する。性差、国籍に拘わらず職員一人ひとりが認められる職場を。地域との連携・交流を深める。

重点目標Ⅲ

変わることを恐れず社会や時代の変化に適応すること、働く人の平等の実現。環境を守るため、今ある資源を大切に。次世代のために資源を残すこと。限られた労働力・資源を生かし、豊かな生活を目指します。

テクノロジーで支える、やさしさのある介護



当施設では、ご利用者様の安心・安全な生活を実現するため、介護ロボットを導入しています。テクノロジーの力を活用しながらも、私たちが最も大切にしているのは「人のぬくもり」です。

01 見守り支援システムの活用

見守りセンサーを導入し、夜間の離床や睡眠状況、バイタル状況を把握しています。

例:ネオスケア、見守りカメラ、眠りスキャン

センサーが異変を検知すると職員へ通知が届き、必要なタイミングで迅速に対応。これにより、転倒事故の予防、夜間の安心体制の強化、ご家族様への安心提供を実現しています。

「常に巡回する介護」から「必要なときに確実に対応する介護」へと進化しました。

02 移乗支援機器の導入

移乗介助は、利用者様にも職員にも大きな負担がかかる場面です。

Hug、リショウネ、SASUKE、床走行リフトの移乗支援機器などを活用し、安全で安定した移乗を行い、その結果、ご利用者様への負担、職員の腰痛予防、介助時の事故リスク低減、安心感のあるスムーズな移動が可能となりました。

職員が安心して働ける環境づくりと継続的に質の高いケアを提供する基盤になります。



ベッドから車椅子間の移乗をアシストします。シートごとベッドから抱き上げ、介護を受ける方、介護をする側の双方にやさしい移乗機器です。



移乗サポートロボット Hugはご自身で立ち上がることができなくなってしまった方の座位間の移乗動作、トイレ・浴室などでの立位をサポートする。



ベッドが縦半分に分離してリクライニング車椅子になります。利用者様の負担もなくベッドから離れることができる。「寝床ねどこ」から離れる「離床りしょう」をしやすくするため、寝たきりになりがちな方の「生活の質」の向上が図れます。



利用者様の体をつり具で持ち上げて、キャスター付きの台座を床の上で移動させるタイプの介護用リフトのことです。ベッドから車椅子・トイレ、リクライニングなどへの移乗をサポートします。

介護ロボットは、介護を機械化するものではありません。機械を操るのは介護職員です。職員がご利用者様と向き合う時間を増やし、より丁寧なケアを行うためのパートナーです。私たちは、データに基づく科学的根拠のあるケアと、人の心に寄り添う介護の両立を目指しています。これからも「人」と「テクノロジー」の力を融合させ、地域に信頼される施設づくりを進めてまいります。安心と尊厳を守る介護を、目指しこれからも前進していきます。



施設のおたより



季節の移ろいを感じながら過ごせる行事が少しずつ戻り、ご利用者の皆さまにとって彩り豊かな毎日となりました。施設内での活動だけでなく、外に出かける機会も増え、職員も共に笑顔あふれる時間を過ごしております。これからも心温まる体験を積み重ね、魅力ある施設づくりを目指してまいります。



グループホーム栄町



12月はクリスマスケーキ作りを企画し、皆さん思い思いにクリームやフルーツでデコレーション!「案外簡単にできるなあ」と楽しんでみえました。認知症カフェは隔月開催しており、認知症について学んだり交流の場として地域の方に参加頂いています。施設の畑で菜っ葉がたくさん収穫できました。「お味噌汁にいれるといいかな?」皆さん手際よく洗っています。毎日の家事も、「できることならやるよ!」と食器洗いやお米とぎ等して下さっています



小規模多機能型居宅介護



ほほえみごち田原で年に数回、地元の保育園、小学校との交流を行なっています。1月には小学6年生が訪問してくれました。小規模多機能型居宅介護についての説明をしながら、施設内の見学もしていただきました。その後、小学生の皆さんが考えてきてくれたレクリエーションを行ないました。何種類ものゲームを考えてきてくれ、楽しい時間を過ごす事ができました。子ども達との交流ではいつもとは違う笑顔が見られ、とても貴重な時間だと思っています。今後も続けていきたい行事の一つです。



デイサービスセンターほほえみの取り組み

個々のスキルアップを図る為に、法人内に3ヶ所あるデイサービスにて、職員の交換研修会を実施しています。ご利用者やスケジュール等環境の違う事業所で、1日勤務し自事業所で取り入れたい工夫を見つけています。毎月の会議にて情報共有し、職員の資質向上を目指しています。



就労継続支援A型事業所 令和8年7月オープン予定

メインはご利用者と一緒に畑で様々な野菜を育て、収穫したものは当法人内の厨房に卸すことです。また、畑仕事が出来ない時は、施設内清掃や厨房のお手伝いなども行う予定です。

お問い合わせ

社会福祉法人 桜友会
(0575)24-9570
担当:後藤(健)

法人の 令和8年度 事業目標

- 1.ご利用者を大切に
- 2.利用者・家族の立場で考える
- 3.働き易い職場とするために職員全員で努力する
- 4.適正稼働率を維持する

令和8年度の各委員会からの目標と目標に対する取組み

親睦委員会

- 桜友会の他部署同士で顔を合わせ、交流・親睦を深める
- ・新人歓迎会、忘年会を実施
 - ・親睦会に参加されている方々が楽しめる企画を一つ実施する

広報委員会

- 読んで頂く方に法人の魅力を伝えられる広報誌を作成する。SNSの運用による広報活動の活性化
- ・各委員との情報共有をこまめに行い、委員全体で一つの広報誌を作成する意識をもつ

防災委員会

- 高齢・児童・障害施設における利用者と職員の安全確保を最優先とし、災害発生時にも施設の基本的な機能を維持できるように、防災体制の整備・防災訓練の実施・業務継続計画(BCP)の策定・改善を組織的に行う
- ・安全パトロールを年4回以上実施 ・防災訓練の計画と実施(年2回以上実施)
 - ・防災備蓄品の年1回の確認及び入れ替えを保管場所ごとに実施
 - ・業務継続計画(BCP)等の見直し・更新の提案・呼びかけを随時行う

夏祭り委員会

- 職員に対しては怪我を、参加者に対しては苦情の発生件数を0件にする
- ・夏祭り委員会にて準備を含め、安心して安全な夏祭りになるよに協議していく

褥瘡対策委員会

- 褥瘡保有件数2%以下を目指す
- ・褥瘡対策委員会にて各部署の発生率、保有率の報告を行い、意識づけを行う
 - ・部署に分けて作成している褥瘡発生状況の一覧をもとに話し合いを行い目標数値を目指す

入浴委員会

- 利用者、職員双方の負担軽減のため、移乗リフトなどの介護ロボットの使用
また環境を整え、安心安全な入浴を提供し、楽しく気持ち良いと思ってくれるように努めていく

排泄委員会

- ・アテントマイスター取得者 年/6名取得
- ・アテントマイスターを取得する事で根拠を持って適切なオムツ、パットの当て方ができる
- ・事業所のケアの質を向上させ、年間を通して適正なオムツ使用を実現する

衛生管理委員会

- 担当制の中に居室環境の項目も設けられたことで衛生管理委員会でも関わり、居室だけではなく環境整理を行い、より利用者様が生活しやすい環境づくりをしていきたい

給食委員会

- 入所者へ安心・安全な食事を提供するとともに、健康(栄養状態)と生活の質(QOL)の維持・向上ができるよう、食事の提供方法を検討し改善を目指して活動する
- また、行事食や利用者の前で食事を調理して提供する「おもてなしキッチン」を実施し、食事満足度向上に繋がる活動を行います

ボランティア 委員会

- ・外部の方に積極的に施設内に入って頂ける機会を設ける
- ・外部の方に情報を発信して、ほほえみの魅力を知ってもらう機会を設ける

研修委員会

- 委員が中心となり、部署毎の研修が適正に実施されているか確認する事に加え、全体研修を実施する事で、法人職員のスキル向上を目指す
- ・年度始まり及び年度末に、各部署の教育訓練計画書を確認し、計画及び実施確認する(計画及び実施確認 2回/年)
 - ・必要な法定研修を研修委員会で担う事で、専門性の高い研修を各部署で実施できる(全体研修の実施 4回/年)

エリア拡大中!

どなたでもOK

土日祝も宅配!

充実の栄養バランス

昼・夕OK

関市内にお住まいの方 お弁当をお届けします!

関市内にお住まいの方であれば、年齢に関係なくどなたでも配食をご利用いただけます。高齢のご利用者の場合は、体調の変化を留意し、顔を見て、声を聴いて、日々の安否確認をしています。



ほほえみ配食サービス

福祉施設が作る、作りたての手渡し見守り弁当

※対象外地区(旧板取村、旧武芸川町、旧武儀町、旧上之保村)



料金はお問い合わせ下さい。

※ほほえみ配食サービスは関市と高齢者の見守り活動に関する協定を結んでいます。

お弁当を手渡しする事で、在宅高齢者の安否確認を兼ねたサービスを行っています。ご家族が心配される独居の方、体調不安な方などの食事摂取状況を聞き取り安否確認をします。通常の食事以外にも敬老の日など特別な日の食事も出しています。

◎デイサービスご利用の方は帰宅時に夕食をお持ち帰りもできます。

☆食べやすく、柔らかい ☆栄養バランス(管理栄養士監修)

☆日替わり献立 ☆汁物付(そのままお召し上がりいただけます)

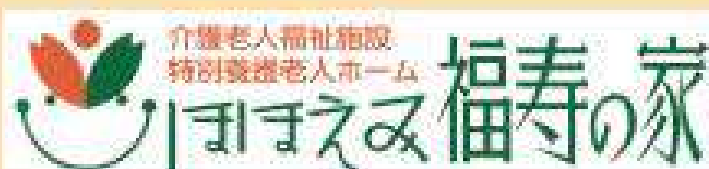
詳しくはお電話にてお問い合わせください。

TEL.0575-24-9570

担当: 栄養士 寺井(てらい)



事業所一覧



	施設名	住所	電話	FAX		
稲口	特別養護老人ホームほほえみ福寿の家	〒501-3932 岐阜県関市稲口845番地 ouyou@hohoemi.or.jp https://www.hohoemi.or.jp	TEL 0575-29-3577	FAX 0575-24-9571		
	短期入所ほほえみ福寿の家		TEL 0575-24-9573			
	デイサービスセンターほほえみ		TEL 0575-24-6388			
	軽費老人ホームケアハウス桜		TEL 0575-24-9572			
	グループホームほほえみごこち稲口		TEL 0575-24-9100		FAX 0575-24-9110	
	ほほえみ訪問介護事業所		TEL 0575-24-9570		FAX 0575-24-9571	
	まなびやデイサービスセンターほほえみ稲口		〒501-3932 岐阜県関市稲口776番地1 ouyou@hohoemi.or.jp		TEL 0575-24-8871	FAX 0575-24-8872
	メゾン・ムートン・ムートン		〒501-3932 岐阜県関市稲口760番地5 ouyou@hohoemi.or.jp		TEL 0575-36-2091	FAX 0575-36-4286
田原	グループホームほほえみごこち田原	〒501-3928 岐阜県関市西田原958番地 tawara@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-0263	FAX 0575-24-0070		
	小規模多機能型居宅介護ほほえみごこち田原		TEL 0575-24-0260			
栄町	グループホームほほえみ栄町	〒501-3253 岐阜県関市栄町2丁目8番1 sakaemachi@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-2080	FAX 0575-24-3048		
	まなびやデイサービスセンターほほえみ栄町		TEL 0575-24-2081			
相談支援	ほほえみ介護相談センター稲口	〒501-3932 岐阜県関市稲口845番地 caremane@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-9577	FAX 0575-24-9571		
	ほほえみ介護相談センター栄町	〒501-3253 岐阜県関市栄町2丁目8番1 caresakae@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-3038	FAX 0575-24-3048		
	関市中央第4地域包括支援センター	〒501-3932 岐阜県関市稲口845番地 houkatu@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-8580	FAX 0575-24-8581		
	関市認知症初期集中支援チーム	〒501-3932 岐阜県関市稲口845番地 syoki@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-5855			
児童	児童心理療育施設桜学館	〒501-3932 岐阜県関市稲口777番地1 sakura@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-0050	FAX 0575-24-0051		
	子ども家庭支援センターとも	〒501-3932 岐阜県関市稲口778番地1 tomo@hohoemi.or.jp	TEL 0575-24-1061	FAX 0575-24-1062		

【関連法人】 医療法人 明萌会

●介護老人保健施設 花咲き庵 〒501-3932 岐阜県関市稲口776-1

TEL.0575-23-8801 FAX.0575-23-8804 E-mail: hanasaki@meihoukai.jp